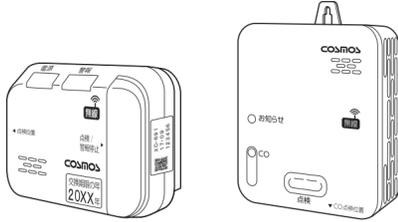


ガス・CO警報器(LPガス用)

型式 **XC-691**

取扱説明書 [保証書付]

このたびは、ガス・CO警報器(LPガス用)をお買い求めいただきありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。なお、万一、本書を紛失されたときは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。



LPガス検知・警報部

CO検知部

- このLPガス検知・警報部はプロパンガス、ブタンガスなどの液化石油ガス(以下LPガス)を検知します。また、CO検知部はLPガス燃焼機器による不完全燃焼排気ガスを検知します。都市ガスをご使用のご家庭には、都市ガス用のガス警報器を設置してください。
- 酸素欠乏による中毒防止用ではありません。
- ガスの発生を未然に防止する装置ではありません。ガスもれなどによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- ガス検知部にガスが到達しないときは、警報機能が働きます。
- 本機はマイコンメータ遮断用無線装置(RM-691：別売品)を使用して、マイコンメータなど外部機器と連動させることができます。

新コスモス電機株式会社

本社 〒532-0036 大阪市淀川区三津屋中2-5-4 (06)6308-3155(代)

[北海道] 札幌 (011)231-1101(代) [中部] 名古屋 (052)951-2650(代)

[東北] 仙台 (022)295-6061(代) [静岡] 静岡 (054)255-1901(代)

[北陸] 金沢 (076)234-5611(代) [関西] 大阪 (06)6308-3155(代)

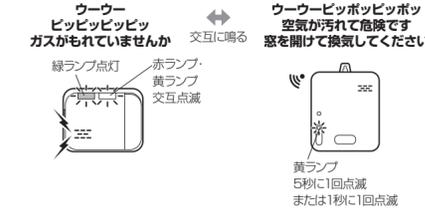
[関東] 東京 (03)5403-2706(代) [四国・中国] 岡山 (086)435-5087(代)

新潟 (025)365-1390(代) 広島 (082)568-2800(代)

[九州] 福岡 (092)431-1881(代)

ガスのもれとガス機器の不完全燃焼によるCOが同時に発生したときは

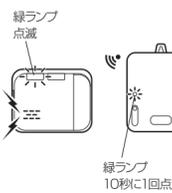
警報器周囲のガスとCOが規定濃度以上になると作動します。



4. その他の機能

CO 検知部の電池が切れたときは

CO検知部の電池の電圧が低下すると、CO検知部の緑(お知らせ)ランプが10秒おきに1回点滅し、LPガス検知・警報部の緑(電源)ランプも点滅します。このとき、「**ピッ CO検知部が電池切れです**」と1回お知らせします。その後、約50秒おきに「**ピッ**」音でお知らせします。LPガス検知・警報部の警報停止スイッチを押すと、「**ピッ CO検知部が電池切れです**」と1回お知らせします。その後、約50秒おきに「**ピッ**」音でお知らせします。CO検知部の点検スイッチを押すと、「**ピッ CO検知部が電池切れです**」と1回お知らせします。「**ピッ**」音は停止しません。
※ 販売店に連絡してください。



交換期限が過ぎたときは

交換期限を過ぎるとLPガス検知・警報部の緑(電源)ランプがゆっくり点滅し、LPガス検知・警報部の警報停止スイッチまたはCO検知部の点検スイッチを押すと、「**警報器の交換期限が過ぎています 販売店に連絡してください**」と鳴ります。
※ 販売店に連絡してください。
※ 交換期限お知らせ機能を解除している場合は鳴動しません。
緑(電源)ランプのゆっくり点滅もありません。



#1 ゆっくり点滅
ランプが消灯から点灯、点灯から消灯へ連続的にゆっくり変化します。

ガス・CO警報器(LPガス用)

保証書

型式名 **XC-691**

このたびはガス・CO警報器(LPガス用)をお買い求めいただきありがとうございます。この製品は高圧ガス保安協会検定に合格した警報器です。従って正常な使用状態では故障の心配はありませんが、保証期間中万一異常を生じた場合は、速やかに販売店に連絡し、本書を提示してください。次の要領で下記の者が点検または交換いたします。

- ・保証期間 警報器本体に表示された交換期限の期限内。
- ・保証の対象 保証は機体本体を対象とします。機体本体以外に生じた損害は、本保証書に定められた保証の対象ではありません。
- ・保証適用 取扱説明書に基づき(正常な使用状態で製造上の責任による故障の場合は無償で交換します。)
- ・保証適用除外 以下の保証の適用除外項目に記載する事項の場合。
- ・保守点検 警報器の異常等のお申し出がありました際に次の保守点検をいたします。

(実施者) 販売者 販売店に必ず 記入してください	
(保証者) 発売元	
(保証者) 製造元	

※保証の適用除外

- この製品は保証期間内でも次のような場合、交換は有償となります。
- 1) 使用者の故意または不注意によって生じた故障または損傷。
 - 2) 火災、天災、異常電圧、異常温度、異常雰囲気等の不可抗力による故障または損傷。
 - 3) 取付位置が離外、高温多湿等著しく不適切な場所および浴室に取り付けた場合。
 - 4) LPガス以外のガス、水や煮こぼれ等の液体、動植物による故障または損傷。
 - 5) その他使用上の誤り、分解、改造されたもの、衝撃等による故障または損傷。
 - 6) 本書の提示がない場合。ただし本書は日本国内のみ有効です。
 - 7) 本書に販売者の記入のない場合。
 - 8) その他製造業者の責任によらない汚損、故障または損傷。
 - 9) 高圧ガス保安法に基づいて設置された警報器の場合。

※お願い

- 1) 警報器の作動確認は、付属の点検ガス採取器で点検してください。
- 2) 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- 3) 交換期限を過ぎた製品は保証いたしません。警報器は安全を守るための製品ですので必ず新しい製品とお取り替えください。

この保証書はお客様の民法または商法の権利を制限するものではありません。また、警報器についてご不明の場合はおとめの販売店にお問い合わせください。

お客さま		
お名前		TEL
ご住所		

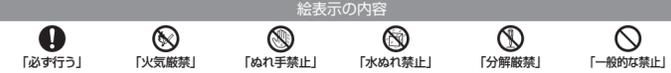
1. 安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

危険 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定される」内容を示します。

警告 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

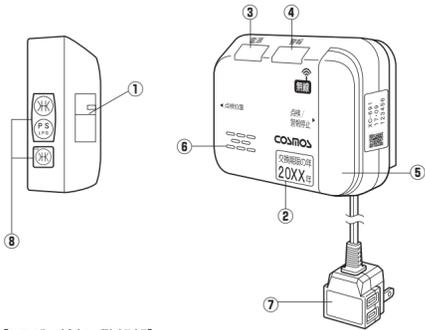
注意 誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示しています。



警告 分解や改造はしないでください。故障の原因となります。

衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

2. 各部のなまえとはたらき



[LPガス検知・警報部]

- ① **LPガス検知部および点検位置**
LPガスを検知します。また点検ガスを注入する部分です。
- ② **交換期限表示**
警報器の交換期限が表示されています。
- ③ **緑(電源)ランプ**
通常は点灯しています。LPガス検知・警報部およびCO検知部が故障しているときや通信エラーになったときに高速点滅します。
- ④ **赤/黄(警報)ランプ**
LPガスを検知すると赤ランプが点灯します。COを検知すると黄ランプが点滅または点灯します。
- ⑤ **警報停止スイッチ**
ガスもれ警報中やCO注意事項が5分継続からの警報中にスイッチを押すと、警報音を約1分間停止することができます。
- ⑥ **警報スピーカー**
ガス、COを検知すると警報音が鳴ります。
- ⑦ **電源プラグ**
消費電力が1490W以下の電気製品を接続できる予備コンセント付きです。コード長さは2.5mです。

[CO検知部]

- ⑧ **検定合格証**
高圧ガス保安協会の検定に合格した商品であることを証明しています。
- ⑨ **緑(お知らせ)ランプ**
通常は消灯しています。CO検知部が故障や電池切れ、無線通信エラーをしているときに点滅します。
- ⑩ **黄(CO警報)ランプ**
COを検知すると点滅します。
- ⑪ **CO検知部**
COを検知します。
- ⑫ **点検スイッチ**
LPガス検知・警報部との無線通信状態やCO検知部のランプ点滅時の音声確認をするときなどに使用します。

消費電力が1490W以下の電気製品を接続できる予備コンセント付きです。コード長さは2.5mです。

予備コンセントを使用する場合は

- 警告** 予備コンセントに複数の電気製品を接続しないでください。火災のおそれがあります。接続できるのは**1490W以下の電気製品、1台だけ**です。
- LPガス検知・警報部の電源プラグに大きな力をかけないでください。** LPガス検知・警報部のプラグに付属している予備コンセントを使用することができます。
- 警告** 他の電気製品を予備コンセントに接続する場合は、電気製品の電源スイッチを切ってから電源プラグの抜き差しを行ってください。感電のおそれがあります。

5. ご使用方法

警告

電源電圧AC100V以外で使用しないでください。過電圧を加えると過熱し、火災の原因になるおそれがあります。

注意

- 必ず行う LPガス検知・警報部の電源プラグや、予備コンセントに接続する他の電気製品の電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。感電・ショート・発煙・発火や、電源プラグ部分の過熱による焼損のおそれがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししたり、予備コンセントを触ったりしないでください。感電するおそれがあります。
- 警報器や電源プラグ(予備コンセントを含む)を水につけたり、水をかけたりしないでください。感電・ショート・発煙・発火のおそれがあります。
- 警報器をお手入れするとき以外は、電源プラグを抜かないでください。ガスもれが発生しても警報を発しません。
- LPガス検知・警報部に耳を近づけて、警報音を聞かないでください。聴力障害などの原因になるおそれがあります。
- LPガス検知・警報部の電源プラグに大きな力をかけないでください。電源プラグやコンセントが破損するおそれがあります。
- 取付位置を移動させないでください。警報の遅れの原因となります。取付位置を変える必要が生じたときは、販売店に連絡してください。
- LPガス検知・警報部の近くにラジオなどを使用しないでください。ラジオなどにノイズ(雑音)が入ることがあります。LPガス検知・警報部から距離を離してお使いください。
- 警報器の前に物を置いたり、取り付けたりしないでください。警報の遅れの原因となります。

過去10日間に警報器が動作したかどうかを確認することができます。LPガス検知・警報部の警報停止スイッチを約1秒間押すと、過去10日以内で最後に行った警報器の動作を、下表のランプ表示(LPガス検知・警報部側)でお知らせします。
※ LPガス検知・警報部の電源を投入してから約25分以内に起こった警報器の動作の履歴は表示しません。

過去の警報器の動作	ランプ(LPガス検知・警報部側)		
動作	緑(電源)	黄(CO警報)	赤(ガス警報)
LPガス警報	消灯	消灯	1秒点灯
CO警報	消灯	1秒点灯	消灯
故障警報	消灯	消灯	1秒間に2回点滅

過去の警報器の動作	ランプ(LPガス検知・警報部側)		
動作	緑(電源)	黄(CO警報)	赤(ガス警報)
マイコンメータのしゃ断予告信号を表示	1秒間に2回点滅	消灯	消灯
マイコンメータのしゃ断信号を表示	1秒間に2回点滅	消灯	消灯
マイコンメータの復帰安全確認中信号を表示	1秒間に3回点滅	消灯	消灯
マイコンメータのガス使用許可信号を表示	1秒点灯	消灯	消灯
マイコンメータとの誤配線信号を表示	1秒に1回緑・赤の交互点滅		

3. ガス警報機能

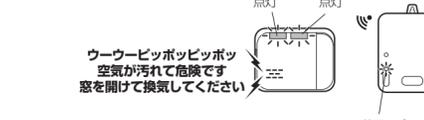
ガスがもれたときは

LPガス検知・警報部周囲のガスが規定濃度以上になると作動します。



ガス機器の不完全燃焼によるCOが発生したときは

CO検知部周囲のCOが規定濃度以上になると作動します。低濃度のときは注意事項が作動し、高濃度になると警報が作動します。(低濃度が約5分間継続した場合も警報が作動します。)



黄ランプ 5秒に1回点滅

黄ランプ 1秒に1回点滅

6. 『ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれていませんか』と鳴ったときの処置のしかた

危険

警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。爆発のおそれがあります。

- ドアや窓を開けて換気する。**
マッチやライターなど、火気を使わない。
換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切しない。
- ガス栓や器具栓を閉める。**
ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。
- ガスがなくなれば、警報音が鳴りやむ。【赤(ガス警報)ランプ消灯】**
電源プラグを抜かない。
- ガスもれの原因を点検する。**
原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

※ LPガス検知・警報部の緑(電源)ランプが点滅している間に、CO検知部の電源がON状態にならないと無線通信エラーとなり「**ピッピッピッ CO検知部の電波が受信できません**」と鳴ります。無線通信エラーになった場合は、CO検知部の点検スイッチを押して無線通信が正常になることを確認してください。

※ 警報器が故障の場合は、「**ピッピッピッ 警報器故障です**」が鳴ります。販売店に連絡してください。
※ 無線通信エラーや故障時のランプ動作は、P.5の「**4. その他の機能**」を参照ください。

※ マイコンメータと接続している場合は、警報音が鳴ってから約25～35秒後にマイコンメータがガスをしゃ断します。所定の復帰操作を行ってください。

7. 『ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』と鳴ったときの処置のしかた

危険

警報音が鳴ったら、すぐに換気し、使用中のガス機器を止める。
CO濃度が上昇し、短時間で生命に危険をおよぼすおそれがあります。

1 ドアや窓を開けて換気する。



2 ガス栓や器具栓を閉める。



ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。

3 ガスがなくなれば、警報音が鳴りやむ。

【黄(CO警報)ランプ消灯】



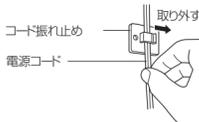
※ マイコンメータと接続している場合は、マイコンメータ遮断用無線装置の設定によって、警報音が鳴ってから約25～35秒後にマイコンメータがガスをしゃ断する場合があります。所定の復帰操作を行ってください。

11

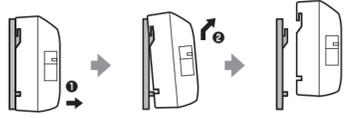
【LPガス検知・警報部】

〈取り外しかた〉

1 電源コードをコード振れ止めから取り外す。

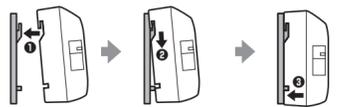


2 取付板からLPガス検知・警報部を取り外す。



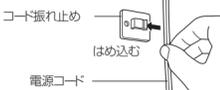
〈取り付けかた〉

1 取付板にLPガス検知・警報部を取り付ける。



2 電源コードをコード振れ止めにはめ込む。

〈確認〉
LPガス検知・警報部が確実に固定されていることを確認してください。



お手入れ

- 警報部の表面が汚れた場合は、水または石けん水で濡した布を、よくしぼってふき取ってください。取り付ける前に警報器がぬれていないことを確認してください。
- 電源プラグや取り付け面に付着したほこりをふき取ってください。
- ガス検知部に、ほこりやゴミがついていたら取り除いてください。



17

8. 『ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれていませんか』と『ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』が交互に鳴ったときの処置のしかた

危険

警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。
爆発のおそれがあります。

マッチやライターなど、火気を使わない。



換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切しない。



電源プラグを抜かない。



1 ドアや窓を開けて換気する。



2 ガス栓や器具栓を閉める。



ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。

3 ガスがなくなれば、警報音が鳴りやむ。

【赤(ガス警報)ランプ・黄(CO警報)ランプ消灯】



4 ガスもれの原因を点検する。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。



※ マイコンメータと接続している場合は、警報音が鳴ってから約25～35秒後にマイコンメータがガスをしゃ断します。所定の復帰操作を行ってください。

12

13. 故障かな?と思ったら

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください
CO 検知部の緑 (お知らせ) ランプが10秒に1回点滅およびLPガス検知警報部の緑(電源)ランプが点滅している。	警報停止スイッチを操作したとき、「 ピッピッ CO 検知部が電池切れです 」のメッセージが鳴る。	電池が消耗しています。販売店にご連絡ください。
LPガス検知・警報部の緑(電源)ランプが高速点滅している。	警報停止スイッチを操作したとき、「 ピッピッピッ 警報器故障です 」のメッセージが鳴る。	警報器の故障が考えられます。販売店にご連絡ください。
CO 検知部の緑 (お知らせ) ランプが10秒に3回点滅およびLPガス検知警報部の緑(電源)ランプが高速点滅している。	警報停止スイッチを操作したとき、 ・CO 検知部故障時「 ピッピッピッ CO 検知部が故障しています 」のメッセージが鳴る。 ・両方故障時「 ピッピッピッ 警報器故障です CO 検知部が故障しています 」のメッセージが鳴る。	処置をしても警報音が鳴りやまない場合は、警報器の故障が考えられます。販売店にご連絡ください。
ガス、COの発生ではないのに、警報音が鳴る。	原因を調べてください。 【10. 異常がないのに警報音が鳴ったり、ランプが点滅したときの処置のしかた】を参照	処置をしても警報音が鳴りやまない場合は、警報器の故障が考えられます。販売店にご連絡ください。

14. 交換期限

- 交換期限を過ぎた警報器は、規定の警報ガス濃度で警報を発しないうえに誤動作のおそれがありますので、ぜひ新しい警報器と取り替えてください。交換期限は、警報器本体に表示してあります。
- 警報器の交換期限を過ぎたときは、販売店までご連絡ください。

18

9. 部屋の外から警報音に気づいたときは

危険

警報音が鳴っている間は、部屋の外から、すぐに入室しないでください。
爆発やCO中毒のおそれがあります。



1 部屋に入らない。

ドアや窓を開けて換気してください。



2 ガスメータ近くのメータガス栓を閉める。

メータガス栓を開けるときは販売店にご連絡ください。



3 ガスがなくなれば、警報音が停止する。

処置をしても、警報音が鳴りやまないときは

販売店へ連絡してください。

③③③③

たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。



13

10. 異常がないのに警報音が鳴ったり、ランプが点滅したときの処置のしかた

ガスやCO以外の空気の汚れで、警報音が鳴ったときは

〈警報音を止めたいとき〉

LPガス検知・警報部の警報停止スイッチを押すと、

- ガス警報の警報音は1回だけ1分間止めることができます。
 - CO警報は、黄(CO警報)ランプが点滅しCO警報音が鳴っている場合のみ、警報音を1回だけ1分間止めることができます。
- ※ 警報器周囲のガスとCOが規定濃度以下になつていない場合、停止時間経過後に再び警報音を発します。

1 ドアや窓を開け、しばらく換気を続ける。



2 警報器周囲のガスが規定濃度以下になると、ランプの点滅や警報音が止まる。

警報音が鳴った原因について

③③③③

ガスもれやCO発生ではなく、空気の汚れなどにより、赤(ガス警報)ランプが点灯・黄(CO警報)ランプが点滅・点灯したり、警報音声が鳴る場合がありますが、すぐに鳴りやみますのでLPガス検知・警報部の電源プラグは抜かなくてください。

- スプレー式殺虫剤やヘアスプレーなどを、警報器にかけていませんか。
- 芳香剤・香油(アロマオイル)などの濃いガスが警報器にかかっていますか。
- 溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用していませんか。
- フローリングのワックス、溶剤を含む接着剤を使用していませんか。
- 長時間、部屋を閉め切っていませんか。
- みりんや酢などの調味料成分を含んだ蒸気が、警報器に大量にかかっていますか。
- 可燃性のガスなどを使用していませんか。
- LPガス検知・警報部の通常の電圧範囲はAC100V±10Vです。それ以外で使用していませんか。
- 換気が十分でない状態で、湯沸器を使用していませんか。
- ガスコンロの着火ミスがありませんか。
- 自動車の排気ガスが室内にこもっていませんか。
- 炭火や練炭を使用していませんか。
- 換気扇を回さずに大鍋(業務用)で湯を沸かしていませんか。点火初期時にCOが発生し、CO警報を発することがあります。

14

17. 仕様

項目	仕様	
対象ガス	LPガス 燃焼排ガス中の一酸化炭素(CO)	
検知方式	LPガス検知・警報部：熱線型半導体式 CO検知部：電気化学式	
LPガス	ガス警報	動作条件 LPガス検知・警報部：熱線型半導体式 CO検知部：電気化学式 表示・発報方式 赤(ガス警報)ランプ点灯 音声合成音 音声合成音 応答時間 30秒以内
	CO警報	動作条件 注意報レベルを超えて550ppm以下 表示・発報方式 LPガス検知・警報部：黄(CO警報)ランプ点灯 CO検知部：黄(CO警報)ランプ1秒に1回点滅 音声合成音 音声合成音 応答時間 5分以内
燃焼排ガス中のCO	CO	動作条件 50ppmを超えて250ppm以下 表示・発報方式 LPガス検知・警報部：黄(CO警報)ランプ5秒に1回点滅 CO検知部：黄(CO警報)ランプ5秒に1回点滅 5分経過後、音声合成音 応答時間 10分以内
	CO	表示・発報方式 LPガス検知・警報部：黄(CO警報)ランプ5秒に1回点滅 CO検知部：黄(CO警報)ランプ5秒に1回点滅 5分経過後、音声合成音 応答時間 10分以内
外部出力信号	無線信号 出力信号遅延時間約25～35秒	
警報音量	70dB(A)/m以上	
電源	LPガス検知・警報部：AC100V±10% 50/60Hz CO検知部：専用リチウム電池(3V) CR-2/3AZC22P	
消費電力、定格	LPガス検知・警報部：監視時約0.7W、 警報時約1.1W CO検知部：DC3V、200mA	
使用温度範囲	LPガス検知・警報部：-10℃～+40℃ CO検知部：0℃～+50℃ (どちらも結露しないこと)	
寸法	LPガス検知・警報部：幅85×高さ67×奥行30mm (突起部を除く) CO検知部：幅85×高さ100×奥行30mm (突起部を除く)	
質量	LPガス検知・警報部：約205g CO検知部：約130g(電池を含む)	
電源コード	長さ2.5m予備コンセント付プラグ	
付属品	LPガス検知・警報部	取付板×1、木ねじ(φ3.1×10mm)×4、 ピン×4、両面テープ×2、コード振れ止め×2
	CO検知部	取付フック×1、ピン×3、取付ねじ(φ3.1×16mm)×1
その他	取扱説明書(保証書付)、施工説明書、点検ガス採取器 警告表示「警報器が鳴ったら」ステッカー	
無線	特定小電力無線 (規格：ARIB STD-T108、920MHz帯)	

* 爆発下限界
爆発は、空気に対するガスの割合がある範囲になったときに起こる可能性があります。その範囲を爆発限界といつて、最高濃度を爆発上限界、最低濃度を爆発下限界といひます。

20

11. 点検方法

日常点検

- 日常点検は、LPガス検知・警報部のランプが緑色に点灯していることを確認してください。
ランプが点灯していないと、ガスもれが発生しても警報を発しません。
- 1ヶ月に1度、CO検知部の点検スイッチを押してLPガス検知・警報部との無線通信の状態を確認してください。
この不明の場合は、販売店に連絡してください。

作動点検

警報器が正常に作動していることを確認するために、付属の点検ガス採取器による点検を行ってください。
点検される際は、施工説明書の「ガス警報機能の点検」を確認してください。

③③③③

- 点検ガス採取器は、おさまの手の届かない場所で保管してください。
- ガスを注入しても警報音が鳴らないときは、「16. アフターサービス」をお読みください。
- 点検ガスをかけ続けしないでください。警報音が鳴りやまなくなることがあります。

15

マイコンメータ遮断用無線装置 (RM-691:別売品) と接続している場合の警報器動作

- **マイコンメータ遮断用無線装置の電池が切れたとき**
LPガス検知・警報部の緑(電源)ランプが点滅し、「**ピッ メータ側の無線機が電池切れです**」と1回お知らせします。その後約50秒おきに「**ピッ**」音でお知らせします。
LPガス検知・警報部の警報停止スイッチを押すと、「**ピッ メータ側の無線機が電池切れです**」と1回お知らせします。以降「**ピッ**」音は停止します。
CO検知部の点検スイッチを押すと、「**ピッ メータ側の無線機が電池切れです**」と1回お知らせします。「**ピッ**」音は停止しません。
- **マイコンメータ遮断用無線装置の交換期限が過ぎたとき**
LPガス検知・警報部の緑(電源)ランプがゆっくり点滅し、LPガス検知・警報部の警報停止スイッチまたはCO検知部の点検スイッチを押すと、「**メータ側の無線機の交換期限が過ぎています 販売店に連絡してください**」と鳴ります。
※ 交換期限お知らせ機能を解除している場合は鳴動しません。
※ 交換期限お知らせ機能は解除している場合は鳴動しません。
※ 緑(電源)ランプのゆっくり点滅もありません。

電池切れ・交換期限の超過時にスイッチを押すと

LPガス検知・警報部の警報停止スイッチまたはCO検知部の点検スイッチを押すと、各音声で鳴動中は、LPガス検知・警報部のランプが下記のとおり動作します。
下記ランプ動作は、無線通信が良好であることを表します。

スイッチの操作	ランプ(LPガス検知・警報部側)		
	緑(電源)	黄(CO警報)	赤(ガス警報)
LPガス検知・警報部の警報停止スイッチを押す	点滅	黄・赤の交互点滅	
CO検知部の点検スイッチを押す	点滅	点滅	消灯

- **マイコンメータ遮断用無線装置の無線通信がエラーになったとき**
LPガス検知・警報部の緑(電源)ランプが高速点滅し、「**ピッピッピッ メータ側の無線機の電波が受信できません**」と鳴ります。
その後、約50秒おきに「**ピッピッピッ**」音が鳴ります。LPガス検知・警報部の警報停止スイッチを押すと、LPガス検知・警報部の黄(CO警報)ランプが点滅し「**ピッピッピッ メータ側の無線機の電波が受信できません**」と1回お知らせします。以降「**ピッピッピッ**」音は36時間停止します。CO検知部の点検スイッチを押すと、「**ピッピッピッ メータ側の無線機の電波が受信できません**」と1回お知らせします。以降「**ピッピッピッ**」音は停止します。

●点検方法

LPガス検知・警報部の警報停止スイッチを押すと、「**警報器正常です電波が受信できています**」と鳴動後、マイコンメータ遮断用無線装置との電波の強度を3段階でお知らせします。LPガス検知・警報部のランプは緑(電源)ランプが点滅し、赤(ガス警報)ランプと黄(CO警報)ランプが交互点滅します。

【電波強度】

電波強度(強)：「**ピーーピーー**」
電波強度(中)：「**ピーーピー**」
電波強度(弱)：「**ピーー**」

21

12. お手入れのしかた

注意

- LPガス検知・警報部をお手入れするときは、必ず電源プラグを抜いてください。
感電やけがの原因となります。
- 電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりを取り除いてください。
火災の原因となります。

③③③③

- お手入れするときは、警報器の内部に水が入らないように注意してください。
- アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールなどを使うと、警報器本体の表面を傷めることがありますので使用しないでください。
- 中性洗剤などを使ったときは、警報器本体の表面に傷がついたり、しばらくランプが点灯したり、警報音が鳴りやまなくなることがあります。

お手入れの際の警報器の取り付け・取り外し

【CO検知部】

■取付フックの場合

〈取り外しかた〉

CO検知部を持ち上げて矢印の方

〈取り付けかた〉

CO検知部を取付フックに引っ掛ける。向へ取り外す。



〈確認〉
CO検知部が確実に固定されていることを確認してください。

■木ねじの場合

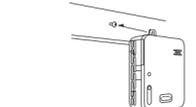
〈取り外しかた〉

木ねじをゆるめる



〈取り付けかた〉

CO検知部を木ねじに引っ掛けて、木ねじを締め付けて固定する。



〈注意〉

CO検知部を強く引っ張ると取り付けている木ねじが抜けたり、木ねじからCO検知部が外れたりして、落下するおそれがあります。

16

18. マイコンメータ連動機能

S型・E型メータと接続している場合は、警報器とマイコンメータで信号の送受信を行い、以下のようにLPガス検知・警報部が動作します。

ガス警報器が、マイコンメータをしゃ断するときは

①ガスもれ	赤ランプが点灯し、「 ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれていませんか 」が鳴ります。 →約25～35秒鳴動すると、マイコンメータにしゃ断信号を送ります。
②ガスしゃ断	マイコンメータがガスをしゃ断すると赤ランプが点滅し、「 ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれていませんか ガスをメータで止めました 」が鳴ります。 ※ LPガス検知・警報部の警報停止スイッチを押すと、約1分間警報音が停止し「 ピッピッ ガスをメータで止めました 」が鳴ります。 ガスがなくなれば赤ランプが消灯し、「 ピッピッ ガスをメータで止めました 」が鳴ります。 (マイコンメータからしゃ断信号を受信するたびに鳴動を繰り返します)
③復帰動作	マイコンメータの復帰操作を行うと、「 ピッピッピッ 安全を確認中です しばらくお待ちください 」が鳴ります。 ※ 復帰安全確認中に、器具のガスもれ(ガス栓の閉め忘れなど)がある場合、再びガスをしゃ断します。 ※ 復帰安全確認時間は約1分間です。
④復帰完了	ガスが使えようになると、「 ピーー ガスが使えます 」が鳴ります。

※ CO警報によるマイコンメータしゃ断のときは警報音はCO警報音が鳴ります。ただし、LPガス検知・警報部の警報停止スイッチを押してもCO警報音は停止しません。

マイコンメータのしゃ断信号を受けたときは

①しゃ断予告	緑ランプ・赤ランプが交互点滅し、「 ピッ ガスを長く使っていないませんか 」が鳴ります。 (5秒～20秒間隔、ガスの使用量によって異なります) →ガスをしばらく使わないでください。
②ガスしゃ断	マイコンメータがガスをしゃ断すると緑ランプの点灯に変わり、「 ピッピッ ガスをメータで止めました 」が鳴ります。 (マイコンメータからしゃ断信号を受信するたびに鳴動を繰り返します) →上記①②のマイコンメータ復帰操作を行うと、ガスが使えます。

無線装置とマイコンメータとの配線が切れたときは

LPガス検知・警報部の緑(電源)ランプと赤(ガス警報)ランプが交互点滅し、「**ピッピッピッ メータと無線機の配線を確認してください**」が鳴ります。その後、約50秒おきに音声も鳴ります。
※ マイコンメータとの接続が切れたから約24時間後に表示します。
※ LPガス検知・警報部の警報停止スイッチを押すと音声のみ約36時間停止します。

22